

生き物にぎわう森里川海づくりを目指して



森里川海の恵みと生かす知恵と技術から学び、繋ぎ、新たなコミュニティを創造する

森里川海資源を生かす生業の知恵と技術から学び、伝統を革新的に受け継ぎ生かしていくことで、環境の保全と次世代への伝承を目指している。農山漁村のネットワークづくりや都市との関係性の再構築による持続可能な社会を形成していくことに地域の草の根活動から寄与することを活動の理念としている。実践からの学び(Learning by doing)を重視する。

- ・自然環境・立地特性の恵みの調査研究
- ・暮らしの哲学と美学を再考・研究
- ・知恵と技術の伝承と再創造
- ・農山漁村の生業と現状の再考
- ・地域社会運動の研究
- ・都市と地域社会の関係性の再構築と持続可能なコミュニティの再創造



地域を軸とする保全と生業の創出、環境教育の実践

～里山・里地・里川・里海を拠点とした新たなコミュニティ形成と地域に根差した多彩なプログラムを構想～

自然と人が織りなす田園コミュニティづくり

1、環境保全

- ・田園自然再生活動
- ・里地里山保全活動

2、暮らしと生業の再生

- ・原体験としての農林漁業体験活動
- ・環境保全型農業研究

3、学習・担い手育成(環境教育)

- ・流域を基本単位とし多様なつながりを考える環境学習活動
- ・自然と生業の双方を見据えた指導者養成セミナーの開催

4、交流とネットワークの促進

都市住民や若者達の交流と地域産物のPR・販売促進・サービス提供などネットワーク型の地域づくりや生業の形成

5、多様な人々が参画するコミュニティ形成と地域の自律



山形支局:最上川流域12団体によるネットワーク-2007~2010年の活動実績-

飛島漁協女性部法木支部

山形県最上川流域。最上地方(内陸北部)と庄内地方(西部海岸)の農山漁村における活動団体や地域集落・人々と一緒になって多様な保全活動を展開していきます。
 森里川海の多様な自然と文化、暮らしを学び体験しながらふるさとの原風景の再生と元気づくりに参加する実践プログラムです。



酒田市
飛島漁港

中野俣を元気にする会



Publications, Inc.

鳥海山▲



田茂沢道草ぶんこう



NPO法人
里の自然文化共育研究所

最上川舟下り
いかだ下り

立谷沢川流域振興
プロジェクト協議会

致道博物館



みつざわ里の資源研究所



三瀬の里地域づくり研究会
(つるおかユースホステル)

羽黒古道を守る会

角川里の自然環境学校

若帖交流塾

木の俣
自治会



月山▲



宮沢翁塾

関川しな織共同組合

森活動:茶 里活動:緑 川活動:青 海活動:黄 歴史文化:紫 中間支援団体=赤

山形支局：2007年～2010年 活動位置図

～多彩な集落特性を生かしたネットワーク活動の構築を目指して～



掲載エリア

●飛鳥漁協法木支部

島の生業と物々交換を軸とした連携協働活動

庄内の里山と清流を生かした郷土料理プロジェクトと体験保全活動

●中野俣を元気にする会

●プロジェクト外山

里山活動を軸にした集落作り

●田茂沢道草ぶんこう
里山の体験や創作活動を軸にした教育プロジェクト

●里の研究所清川拠点 ●里の研究所柏沢拠点

流域連携コーディネートモデルエリア・プログラム作り

小国川や村の文化を生かした体験交流

林業・農業・漁業者と連携した体験ツアーと保全活動

●立谷沢流域プロジェクト

●みつざわ里の資源研究所

馬と温泉と農業をつないだ地域づくり

●つるおか山荘スホステル

●松ヶ岡ネット

●角川里の自然環境学校

●若鮎交流塾

農村史跡を生かしたガイドツアーと農業体験・産物販売

山村体験ツーリズムと産品開発販売

●宮沢翁塾

地元学から新たな村の産品とサービス作り

工芸品と学習ツーリズム、里山保全

●関川しな織共同組合

隣県とのツーリズム・産品・地域団体交流プログラム連携

●木村造船所
伝統舟の再現と再活用

●都岐沙羅パートナーズセンター（新潟県）

長野本部事務局：里地里山保全と活用、生物多様性の創出事業 2011～

活動の柱：

- 里地里山保全による生物多様性の創出
- 里地里山保全による暮らしと地域の生業創出
- 里地里山保全によるバイオマスや自然エネルギー等の利用促進
- 里地里山と水辺環境をつなぐ活用の知恵や技術の伝承、環境教育の推進



保全事業

水環境の再評価と保全整備



- 水辺保全と河畔緑化
- 清掃活動
- 外来種駆除と生物保護



多様な主体の参加と連携

- 地域住民
- 学 校
- 企 業
- 行 政
- N P O
- 都市住民



活動モデルの構築とビジョンへの反映

活用事業

水辺自然・文化資源利活用



- 環境教育
- セラピープログラム
- エコツーリズム



NPO法人里の自然文化共育研究所について

2003年山形県戸沢村角川地区において、住民が農山村の知恵や技術を教え伝える地域運営学校として「角川里の自然環境学校」を設立した。活動の展開過程において2006年12月一農山村での活動を多様な隣接地域に広げていくことを目的に教育研究部門が分離独立し「里の自然文化共育研究所」準備室が設置。翌07年7月の設立総会を経て12月NPO法人化した。

「農山漁村の住民及び関係する人々に対して、環境保全と環境教育、文化伝承と社会教育、地域づくり活動に関する事業を行い、農山漁村の自然と文化に根ざした住民主体の環境保全活動や青少年教育、地域づくり活動に寄与することを目的」(定款第3条)に活動を展開している。

森里川海資源を生かす生業の知恵と技術から学び、伝統を革新的に受け継ぎ生かしていくことで、環境の保全と次世代への伝承を目指している。農山漁村のネットワークづくりや都市との関係性の再構築による持続可能な社会を形成していくことに、地域の草の根活動から寄与することを活動の理念としている。

平成23年5月東北地方での活動実績を活かし、日本再生に寄与できる活動展開を図るため長野県に本部事務所を設置、内閣府認証NPO法人となる。

事務局

- ・長野本部事務局
長野県中野市大字深沢44番地
電話・FAX:0269-26-5819
- ・山形支局
山形県鶴岡市三瀬宮の前1番地1
つるおかユースホテル内

